

受注企業動向調査結果

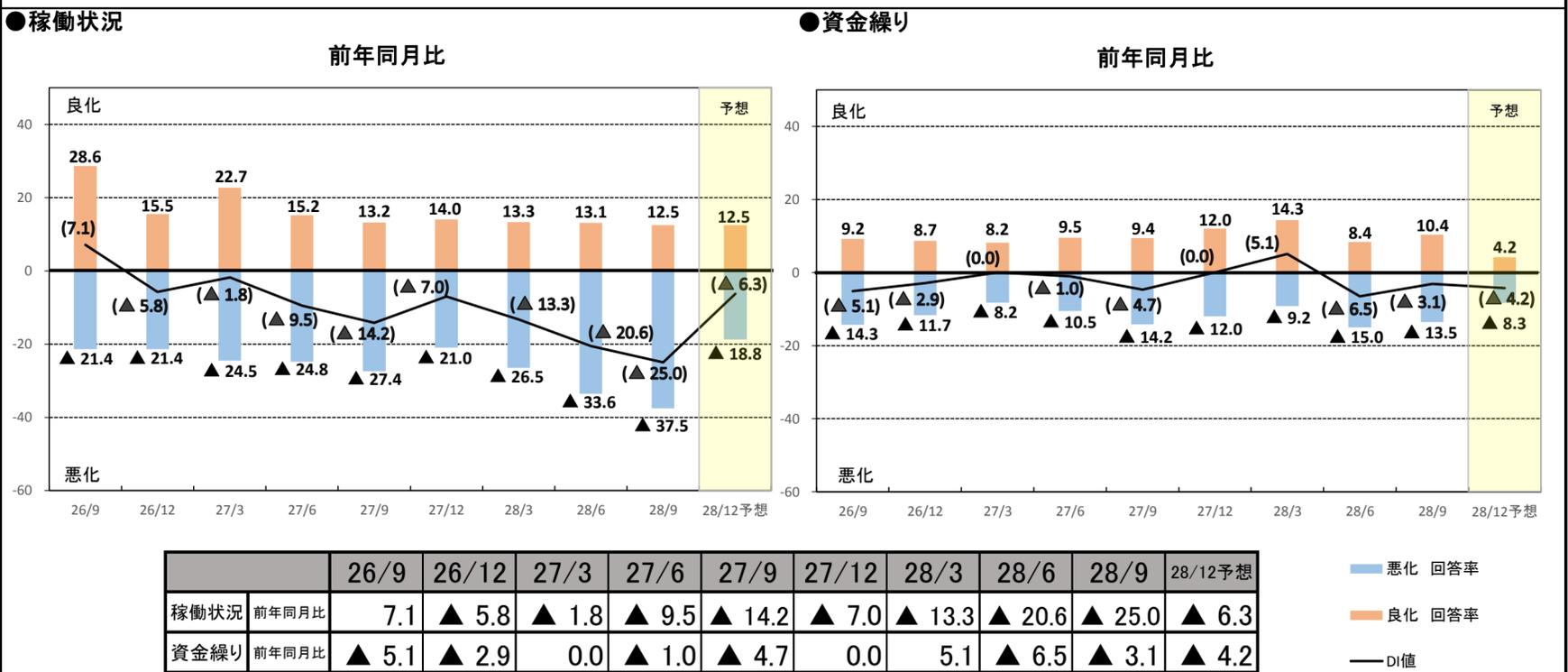
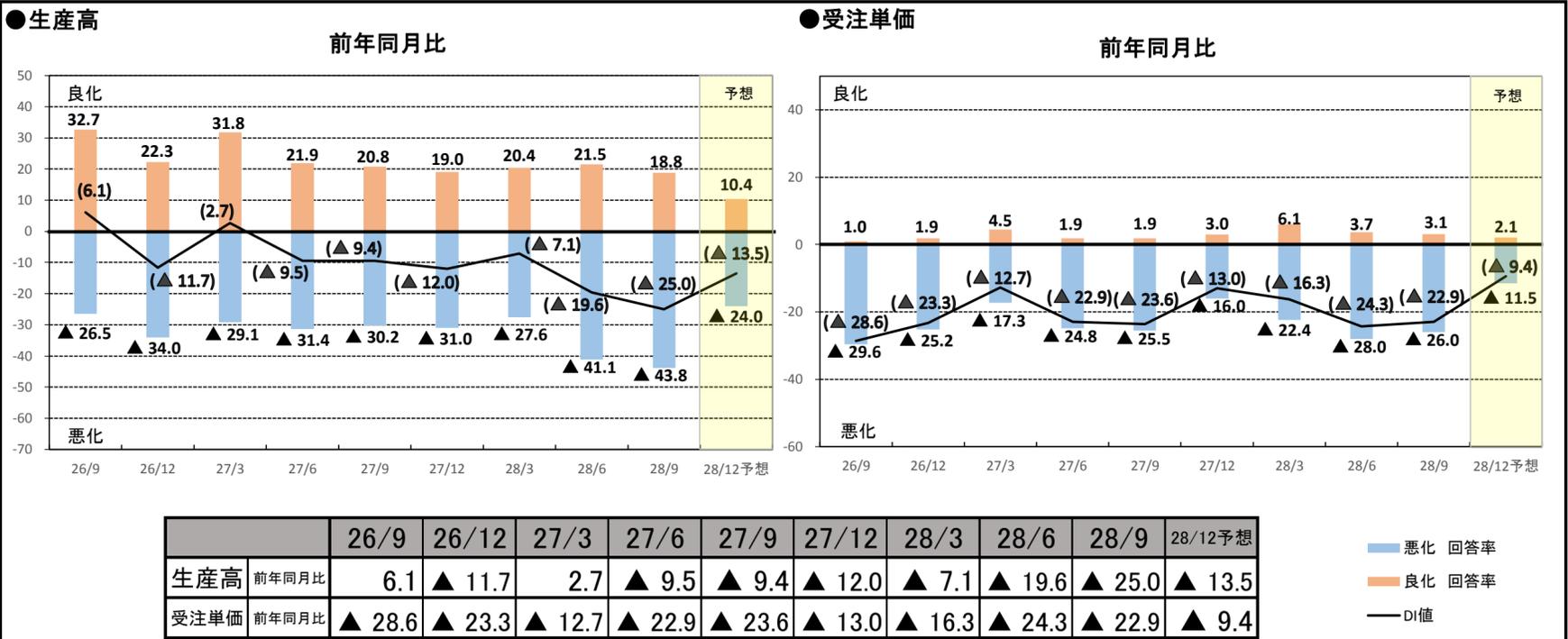
-2016.10-

- 調査時点 平成28年9月調査(平成28年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 96社(回答率:64.00%)

<業種内訳>

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	20社
一般機械器具	22社
電気機器	18社
輸送用機器	6社
精密機器	10社
縫製	6社
計	96社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲25.0で前回の▲19.6から5.4ポイント減で悪化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲22.9で前回の▲24.3から1.4ポイント増で横ばいとなった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲25.0で前回の▲20.6から4.4ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲3.1で前回の▲6.5から3.4ポイント増で良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲13.5で11.5ポイント増の大幅良化、受注単価は▲9.4で13.5ポイント増の大幅良化、稼働状況が▲6.3で18.7ポイント増の大幅良化、資金繰りは▲4.2で1.1ポイント減で横ばいという予想になった。
- ・受注減や受注の波が激しく先行きが不透明などといった声が聞こえ、不安を抱く企業が多い。一方、今後は回復傾向になると予想した企業が多く、年末に向けた需要拡大が予想される。